

外部評価個票

資料3-2

事業所管部局による評価・検証（令和7年度9月末まで）

項目	評価 (ABC)	評価に関する説明	課題
全ての事務事業の検証事項	A	①長く継続し、社会経済情勢の変化とミスマッチになってないか。 (開始時から社会経済情勢の変化を考慮して、継続するのは妥当か。)	県外の交通拠点（仙台空港）から本県へのスムーズな移動を可能とするためには、運行便数が少ないため、利便性が低く、好調な仙台空港の利用者を取り込めていない。
	A	②当初の目的や役割を一定程度達成しているのではないか。 (当初の目的・役割の達成度からみて、継続するのは妥当か。)	
	A	③人口減少を受けて受益者が減少し、コストに見合っていないのではないか。 (開始時から受益者が減少しても、継続するのは妥当か。)	
検証点の取組ポイントマ	A	④課題に対する事業手法は妥当か。	今後の対応
	A	自走化に向け、利用状況に応じて、支援額を見直すこととしており、妥当である。	長期休暇（日本のお盆休み、年末年始休暇や、台湾等の春節休み等）の際に期間増便を実施することを検討するなど、利便性の向上を図るとともに、台湾のKOL（Key Opinion Leader）を活用した動画配信（KOLのSNS等のアカウント上で年明けから配信予定。）を有効活用し、本県観光及び路線のPRを実施する。
	A	⑤成果指標と目標値の考え方は妥当か。	
		本事業における取組のうち、民間ベースでの自立状況を計る代表的な指標であり、妥当である。	
		⑥「執行率が50%未満の場合の要因分析」の内容・手法は妥当か。	

(評価基準) 「A:妥当性が高い/B:おおむね妥当である/C:妥当性が低い